

## ◆銀嶺タクシー株式会社（(社)信越自動車無線協会会員）



魚沼地区で第1号の4値FSK方式タクシー無線機を導入された「銀嶺タクシー株式会社」（新潟県南魚沼市六日町）を訪ねました。

南魚沼市は新潟県南部の魚沼盆地に位置し人口約63,000人、平成21年のNHK大河ドラマ「天地人」の舞台になった街です。八海山（1,778m）・坂戸山（633.9m）・「雲洞庵の土踏んだか、関興寺の味噌嘗めたか」

といわれ、直江兼続が勉学に励んだ雲洞庵で知られています。

また、淡麗辛口の清酒「八海山」、雪国まいたけで知名度が上がっています。

石田健一郎専務取締役と配車担当の小野塚様にお話を伺いました。

4値FSK導入のきっかけは、デジタル化期限を視野に検討していたところ4値FSK方式の低廉な無線機が発売されたことを紹介され、アナログ機の老朽化したことも重なり判断したとのことです。

基地局1局、移動局15局、運用開始は平成23年9月1日。

システム構成はGPS-AVM。4値FSK方式専用GPSライト（新潟通信機株）を導入。

導入費用は約400万円。従前の $\pi/4$ QPSK方式デジタル無線の半額程度であった。

導入にあたっては、デジタル無線で実績のあるメーカーであること、メンテナンスですぐに対応してもらえることを条件で選定したとのこと。

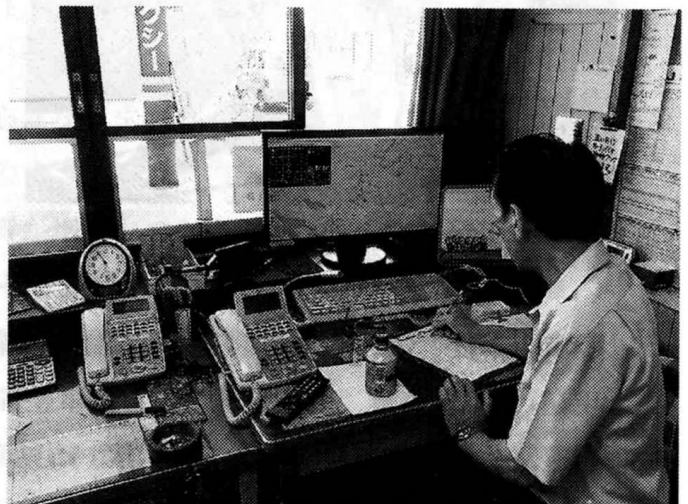
導入にあたって、GPSによる配車は初めてであったが、操作の容易さとメーカーの運用指導対応により、導入初日からスムーズな運用ができ不安はなかったそうです。

無線の通話エリアはデジタル化により狭まる心配があったが、導入前にエリア確認の実験を行うことで払拭されました。

実際、4値FSK導入後のエリアはアナログより広範囲になり、アナログでは通話出来なかった上越新幹線「湯沢駅」「浦佐駅」構内では鮮明な通話が可能になり、新幹線乗降客の送迎がよりスムーズになりました。

音質についてはアナログとは異質なものですが、クリアで鮮明な音質にすぐに慣れて問題はありませんでした。

音声通話のタイミングが操作音でわかるので、通話の頭切れもなく、アナログ時代の通話の重なりがなく聞き返しがなくなりました。





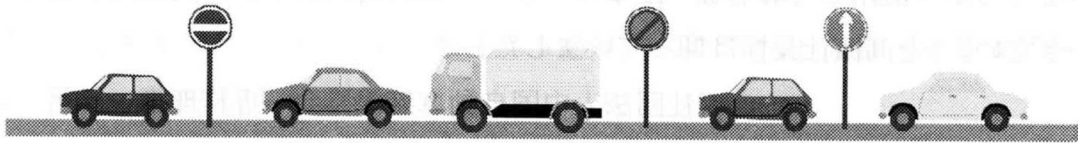
余談ですが、7月末に苗場で行われたフジロックフェスティバルの観客送迎で4値FSK無線が活躍しました。

苗場は六日町から約33km離れた山に囲まれたスキーリゾート地で、無線通話はもちろんできない地区です。交通手段は車だけで、宿泊者を湯沢まで約21km送迎する必要があります。

GPSを導入したことにより、お客様の送迎の様子が配車室モニターで見て取れて車両手配に大変に役立ちました。

「4値FSK方式デジタル無線とGPS-AVMにより、地域のお客様サービス向上と安全安心の運行に繋がる。」とお話されていました。

(新潟通信機株式会社 信越・北陸ブロック長：長橋 敏明 記)



出所：(社)全国自動車無線連合会「タクシー無線 2012 No.51」より